

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 島根県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの医療センター	3
松江市	市立病院	4
出雲市	出雲市立総合医療センター	5
大田市	市立病院	6
安来市	安来市立病院	7
雲南市	雲南市立病院	8
奥出雲町	町立奥出雲病院	9
飯南町	飯南町立飯南病院	10
津和野町	津和野共存病院	11
邑智郡公立病院組合	公立邑智病院	12
隠岐広域連合（事業会計分）	隠岐病院	13
隠岐広域連合（事業会計分）	隠岐島前病院	14

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	53,661 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	572	79.2	74.8	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	40	58.0	53.4	57.1
感染症	6	-	-	-
計	618	77.1	72.8	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.2	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	694,352	
決算規模(千円)	464,501,474	
標準財政規模(千円)	274,324,920	
財政力指数	0.26203	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	186.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.2
修正医業収益(千円)	15,762,800

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,156,657			
1 経常収益	19,156,657			
(1) 医業収益	16,469,703			
入院収益	11,458,852			
外来収益	3,962,467			
診療収入計	15,421,319			
その他医業収益	1,048,384			
(うち他会計負担金)	706,903			
(2) 医業外収益	2,686,954			
(うち国・都道府県補助金)	60,765			
(うち他会計補助・負担金)	1,480,854			
(うち長期前受金戻入)	884,990			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,707,650			
2 経常費用	19,707,296			
(1) 医業費用	18,292,105			
職員給与費	8,633,256	52.4	55.7	49.1
材料費	4,207,212	25.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,966,678	11.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,142,217	13.0	11.0	12.7
減価償却費	1,370,676	8.3	9.0	8.4
経費	3,937,074	23.9	23.3	20.7
(うち委託料)	2,173,564	13.2	11.5	11.6
研究研修費	77,757			
資産減耗費	66,130			
(2) 医業外費用	1,415,191			
(うち支払利息)	297,135	1.8	1.4	1.2
(3) 特別損失	354			
損益				
経常損益	-550,639			
純損益	-550,993			
累積欠損金	21,321,937			
経常収支比率	97.2		97.7	98.8
医業収支比率	90.0		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	86.1		85.7	89.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,937,585
1 固定資産	27,180,271
(1) 有形固定資産	26,671,749
(2) 無形固定資産	9,342
(3) 投資その他の資産	499,180
2 流動資産	5,757,314
(1) 現金及び預金	2,786,752
(2) 未収金及び未収収益	2,980,291
(3) 貸倒引当金()	110,615
(4) 貯蔵品	100,886
3 繰延資産	-
負債合計	31,282,799
1 固定負債	22,446,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,119,258
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,191,990
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,057,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,633,991
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	596,428
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,665,220
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,779,154
(1) 長期前受金	12,328,070
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,548,916
資本合計	1,654,786
1 資本金	26,238,294
2 剰余金	-24,583,508
(1) 資本剰余金	872,181
(2) 利益剰余金	-25,455,689
負債・資本合計	32,937,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,187,770	2,187,757
資本勘定繰入	1,434,750	1,428,882
計	3,622,520	3,616,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	島根県
		市町村・組合名	
		病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,131 m ²	指定病院の状況	
診療科数	3	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	224	74.0	70.6	67.8
感染症	-	-	-	-
計	224	74.0	70.6	67.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	694,352	
決算規模(千円)	464,501,474	
標準財政規模(千円)	274,324,920	
財政力指数	0.26203	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	186.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,649,757			
1 経常収益	2,536,248			
(1) 医業収益	1,476,093			
入院収益	1,228,051			
外来収益	204,329			
診療収入計	1,432,380			
その他医業収益	43,713			
(うち他会計負担金)	32,553			
(2) 医業外収益	1,060,155			
(うち国・都道府県補助金)	4,319			
(うち他会計補助・負担金)	731,455			
(うち長期前受金戻入)	217,194			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113,509			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,584,337			
2 経常費用	2,542,588			
(1) 医業費用	2,319,675			
職員給与費	1,401,583	95.0	55.7	98.9
材料費	115,463	7.8	24.7	8.8
(うち薬品費)	94,112	6.4	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,757	1.4	11.0	1.1
減価償却費	229,746	15.6	9.0	12.7
経費	561,782	38.1	23.3	34.6
(うち委託料)	335,043	22.7	11.5	17.1
研究研修費	9,790			
資産減耗費	1,311			
(2) 医業外費用	222,913			
(うち支払利息)	86,022	5.8	1.4	2.9
(3) 特別損失	41,749			
損益				
経常損益	-6,340			
純損益	65,420			
累積欠損金	4,133,752			
経常収支比率	99.8		97.7	98.9
医業収支比率	63.6		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	30.1		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	51.8		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	28.8		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	69.7		85.7	64.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,937,585
1 固定資産	27,180,271
(1) 有形固定資産	26,671,749
(2) 無形固定資産	9,342
(3) 投資その他の資産	499,180
2 流動資産	5,757,314
(1) 現金及び預金	2,786,752
(2) 未収金及び未収収益	2,980,291
(3) 貸倒引当金()	110,615
(4) 貯蔵品	100,886
3 繰延資産	-
負債合計	31,282,799
1 固定負債	22,446,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,119,258
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,191,990
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,057,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,633,991
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	596,428
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,665,220
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,779,154
(1) 長期前受金	12,328,070
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,548,916
資本合計	1,654,786
1 資本金	26,238,294
2 剰余金	-24,583,508
(1) 資本剰余金	872,181
(2) 利益剰余金	-25,455,689
負債・資本合計	32,937,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.2
修正医業収益(千円)	1,443,540

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	720,478	764,008
資本勘定繰入	146,788	279,627
計	867,266	1,043,635

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	松江市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,895 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	416	74.6	75.0	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	70.6	65.0	71.3
感染症	4	-	0.9	4.0
計	470	73.6	73.3	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.5	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	206,230	
決算規模(千円)	100,297,785	
標準財政規模(千円)	54,570,903	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	83.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.2
修正医業収益(千円)	9,541,288

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,602,295			
1 経常収益	11,602,295			
(1) 医業収益	9,784,493			
入院収益	6,563,019			
外来収益	2,481,718			
診療収入計	9,044,737			
その他医業収益	739,756			
(うち他会計負担金)	243,205			
(2) 医業外収益	1,817,802			
(うち国・都道府県補助金)	39,530			
(うち他会計補助・負担金)	910,724			
(うち長期前受金戻入)	710,776			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,599,290			
2 経常費用	11,599,290			
(1) 医業費用	10,944,049			
職員給与費	5,761,823	58.9	55.7	54.0
材料費	2,228,490	22.8	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,000,779	10.2	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,152,405	11.8	11.0	12.2
減価償却費	1,136,440	11.6	9.0	7.9
経費	1,737,074	17.8	23.3	19.2
(うち委託料)	1,016,928	10.4	11.5	9.3
研究研修費	63,549			
資産減耗費	16,673			
(2) 医業外費用	655,241			
(うち支払利息)	292,792	3.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	3,005			
純損益	3,005			
累積欠損金	3,880,427			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	89.4		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	90.1		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,713,058
1 固定資産	15,037,672
(1) 有形固定資産	14,859,332
(2) 無形固定資産	14,445
(3) 投資その他の資産	163,895
2 流動資産	1,675,386
(1) 現金及び預金	86,316
(2) 未収金及び未収収益	1,537,539
(3) 貸倒引当金()	590
(4) 貯蔵品	50,646
3 繰延資産	-
負債合計	19,779,583
1 固定負債	16,612,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,017,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,594,510
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,693,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,384,297
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	365,881
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	897,732
(9) 前受金及び前受収益	1,320
3 繰延収益	473,815
(1) 長期前受金	5,117,762
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,643,947
資本合計	-3,066,525
1 資本金	763,894
2 剰余金	-3,830,419
(1) 資本剰余金	50,008
(2) 利益剰余金	-3,880,427
負債・資本合計	16,713,058
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,066,525
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,592,710
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,145,933	1,153,929
資本勘定繰入	800,662	821,231
計	1,946,595	1,975,160

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	出雲市
				病院名	出雲市立総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,035 m ²	指定病院の状況	救	へ	
診療科数	16	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	147	77.7	74.8	75.3
療養	52	85.4	87.1	86.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	79.7	78.0	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.3	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	171,938	
決算規模(千円)	79,688,316	
標準財政規模(千円)	45,215,363	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	159.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.4
修正医業収益(千円)	2,696,491

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,259,297			
1 経常収益	3,258,964			
(1) 医業収益	2,794,573			
入院収益	1,714,432			
外来収益	657,451			
診療収入計	2,371,883			
その他医業収益	422,690			
(うち他会計負担金)	98,082			
(2) 医業外収益	464,391			
(うち国・都道府県補助金)	1,007			
(うち他会計補助・負担金)	282,739			
(うち長期前受金戻入)	147,590			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	333			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,418,263			
2 経常費用	3,401,905			
(1) 医業費用	3,272,613			
職員給与費	1,580,335	56.6	55.7	61.3
材料費	371,294	13.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	137,842	4.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	226,951	8.1	11.0	8.2
減価償却費	288,074	10.3	9.0	10.2
経費	1,015,812	36.3	23.3	30.5
(うち委託料)	284,205	10.2	11.5	13.0
研究研修費	11,875			
資産減耗費	5,223			
(2) 医業外費用	129,292			
(うち支払利息)	60,875	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	16,358			
損益				
経常損益	-142,941			
純損益	-158,966			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.8		97.7	96.5
医業収支比率	85.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,604,833
1 固定資産	4,777,603
(1) 有形固定資産	4,022,795
(2) 無形固定資産	32,443
(3) 投資その他の資産	722,365
2 流動資産	827,230
(1) 現金及び預金	319,614
(2) 未収金及び未収収益	490,490
(3) 貸倒引当金()	3,882
(4) 貯蔵品	18,008
3 繰延資産	-
負債合計	4,346,052
1 固定負債	2,673,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,673,060
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	615,351
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	322,349
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,373
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	151,428
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,057,641
(1) 長期前受金	3,010,114
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,952,473
資本合計	1,258,781
1 資本金	1,013,638
2 剰余金	245,143
(1) 資本剰余金	8,774
(2) 利益剰余金	236,369
負債・資本合計	5,604,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	380,821	380,821
資本勘定繰入	171,814	171,814
計	552,635	552,635

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	大田市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,119 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	280	51.1	54.4	54.3
療養	55	64.2	73.2	73.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	339	52.6	56.8	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	16.2	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	35,166	
決算規模(千円)	26,305,775	
標準財政規模(千円)	13,169,321	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	105.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.4
修正医業収益(千円)	3,560,221

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,270,556			
1 経常収益	4,259,106			
(1) 医業収益	3,859,648			
入院収益	2,448,706			
外来収益	1,011,057			
診療収入計	3,459,763			
その他医業収益	399,885			
(うち他会計負担金)	299,427			
(2) 医業外収益	399,458			
(うち国・都道府県補助金)	11,367			
(うち他会計補助・負担金)	331,594			
(うち長期前受金戻入)	21,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,450			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,518,319			
2 経常費用	4,501,754			
(1) 医業費用	4,320,751			
職員給与費	2,115,749	54.8	55.7	57.0
材料費	638,827	16.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	347,329	9.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	246,138	6.4	11.0	11.3
減価償却費	205,057	5.3	9.0	9.3
経費	1,346,967	34.9	23.3	22.1
(うち委託料)	424,306	11.0	11.5	11.1
研究研修費	9,917			
資産減耗費	4,234			
(2) 医業外費用	181,003			
(うち支払利息)	36,302	0.9	1.4	1.4
(3) 特別損失	16,565			
損益				
経常損益	-242,648			
純損益	-247,763			
累積欠損金	3,288,897			
経常収支比率	94.6		97.7	96.4
医業収支比率	89.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	80.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,929,125
1 固定資産	14,287,621
(1) 有形固定資産	13,228,786
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,058,835
2 流動資産	1,641,504
(1) 現金及び預金	490,456
(2) 未収金及び未収収益	1,136,783
(3) 貸倒引当金()	10,649
(4) 貯蔵品	24,914
3 繰延資産	-
負債合計	14,992,919
1 固定負債	12,468,308
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,846,922
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	621,386
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,844,047
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	389,218
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	41,176
(5) 引当金	168,824
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,227,424
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	680,564
(1) 長期前受金	3,147,778
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,467,214
資本合計	936,206
1 資本金	2,955,167
2 剰余金	-2,018,961
(1) 資本金剰余金	1,269,936
(2) 利益剰余金	-3,288,897
負債・資本合計	15,929,125
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	629,464	631,021
資本勘定繰入	501,669	512,880
計	1,131,133	1,143,901

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	85.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	島根県
	市町村・組合名	安来市
	病院名	安来市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,374 m ²	指定病院の状況	救へ輪
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	102	82.3	82.9	74.3
療養	46	91.6	92.6	80.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	85.2	85.9	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	22.5	23.2

設立団体の状況		
人口(人)	39,528	
決算規模(千円)	24,558,566	
標準財政規模(千円)	14,244,721	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.8
	将来負担比率(%)	125.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,012,030			
1 経常収益	2,752,591			
(1) 医業収益	2,304,822			
入院収益	1,436,475			
外来収益	587,979			
診療収入計	2,024,454			
その他医業収益	280,368			
(うち他会計負担金)	160,959			
(2) 医業外収益	447,769			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	246,586			
(うち長期前受金戻入)	43,414			
(うち資本費繰入収益)	133,016			
(3) 特別利益	259,439			
(うち他会計繰入金)	259,439			
総費用	2,883,949			
2 経常費用	2,883,898			
(1) 医業費用	2,786,494			
職員給与費	1,608,728	69.8	55.7	61.3
材料費	301,184	13.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	98,797	4.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	166,097	7.2	11.0	8.2
減価償却費	198,214	8.6	9.0	10.2
経費	671,603	29.1	23.3	30.5
(うち委託料)	210,833	9.1	11.5	13.0
研究研修費	4,389			
資産減耗費	2,376			
(2) 医業外費用	97,404			
(うち支払利息)	21,274	0.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	51			
損益				
経常損益	-131,307			
純損益	128,081			
累積欠損金	1,339,465			
経常収支比率	95.4		97.7	96.5
医業収支比率	82.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	22.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.3		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,347,867
1 固定資産	1,938,847
(1) 有形固定資産	1,903,048
(2) 無形固定資産	1,366
(3) 投資その他の資産	34,433
2 流動資産	409,020
(1) 現金及び預金	22,145
(2) 未収金及び未収収益	355,945
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	30,694
3 繰延資産	-
負債合計	2,221,141
1 固定負債	830,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,816
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,375
2 流動負債	1,063,170
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	283,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	116,190
(6) リース債務	678
(7) 一時借入金	550,000
(8) 未払金及び未払費用	102,442
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	327,780
(1) 長期前受金	959,189
(2) 長期前受金収益化累計額()	631,409
資本合計	126,726
1 資本金	1,387,102
2 剰余金	-1,260,376
(1) 資本剰余金	70,589
(2) 利益剰余金	-1,330,965
負債・資本合計	2,347,867
不良債務	371,146
実質資金不足額	371,146
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.9
修正医業収益(千円)	2,143,863

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,176	666,984
資本勘定繰入	133,016	133,016
計	490,192	800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	371,146	16.1
平成30年度	394,620	17.2
平成29年度	298,345	12.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.1
健全化法上の資金不足額(千円)	371,146
健全化法上の資金不足比率(%)	16.1
地財法上の資金不足額(千円)	371,146
地財法上の資金不足比率(%)	16.1

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	島根県
	市町村・組合名	雲南市
	病院名	雲南市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,772 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	92.3	94.7	94.6
療養	78	85.9	85.9	87.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	281	89.2	90.9	91.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	20.0	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	39,032	
決算規模(千円)	30,937,757	
標準財政規模(千円)	16,973,594	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	107.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,596,625			
1 経常収益	4,587,360			
(1) 医業収益	4,141,565			
入院収益	2,819,547			
外来収益	912,461			
診療収入計	3,732,008			
その他医業収益	409,557			
(うち他会計負担金)	178,224			
(2) 医業外収益	445,795			
(うち国・都道府県補助金)	23,682			
(うち他会計補助・負担金)	352,433			
(うち長期前受金戻入)	40,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,265			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,276,132			
2 経常費用	5,057,358			
(1) 医業費用	4,818,765			
職員給与費	2,249,794	54.3	55.7	59.8
材料費	557,037	13.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	170,501	4.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	336,534	8.1	11.0	9.2
減価償却費	630,780	15.2	9.0	9.9
経費	1,360,114	32.8	23.3	27.7
(うち委託料)	255,388	6.2	11.5	12.4
研究研修費	19,762			
資産減耗費	1,278			
(2) 医業外費用	238,593			
(うち支払利息)	59,009	1.4	1.4	1.5
(3) 特別損失	218,774			
損益				
経常損益	-469,998			
純損益	-679,507			
累積欠損金	1,093,006			
経常収支比率	90.7		97.7	96.3
医業収支比率	85.9		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	80.2		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,833,958
1 固定資産	11,011,293
(1) 有形固定資産	10,375,095
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	636,198
2 流動資産	1,822,665
(1) 現金及び預金	1,166,756
(2) 未収金及び未収収益	639,794
(3) 貸倒引当金()	1,891
(4) 貯蔵品	17,818
3 繰延資産	-
負債合計	11,605,791
1 固定負債	10,112,815
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,112,815
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	713,511
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	351,742
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	167,013
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	175,165
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	779,465
(1) 長期前受金	948,940
(2) 長期前受金収益化累計額()	169,475
資本合計	1,228,167
1 資本金	2,321,173
2 剰余金	-1,093,006
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,093,006
負債・資本合計	12,833,958
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	3,963,341

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	523,347	530,657
資本勘定繰入	223,728	224,359
計	747,075	755,016

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	奥出雲町
				病院名	町立奥出雲病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	未訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,451 m ²	指定病院の状況	救	へ	輪
診療科数	11	看護配置	15	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	82	69.8	74.8	79.3
療養	44	67.7	81.8	79.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	69.1	77.3	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	18.1	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	13,063	
決算規模(千円)	14,922,455	
標準財政規模(千円)	7,658,451	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	85.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	165.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.2
修正医業収益(千円)	1,341,871

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,009,143			
1 経常収益	2,009,143			
(1) 医業収益	1,439,700			
入院収益	940,232			
外来収益	276,735			
診療収入計	1,216,967			
その他医業収益	222,733			
(うち他会計負担金)	97,829			
(2) 医業外収益	569,443			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	425,768			
(うち長期前受金戻入)	138,048			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,916,848			
2 経常費用	1,916,848			
(1) 医業費用	1,833,098			
職員給与費	1,208,841	84.0	55.7	61.3
材料費	169,865	11.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	58,624	4.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,662	6.2	11.0	8.2
減価償却費	163,972	11.4	9.0	10.2
経費	272,218	18.9	23.3	30.5
(うち委託料)	129,716	9.0	11.5	13.0
研究研修費	4,338			
資産減耗費	13,864			
(2) 医業外費用	83,750			
(うち支払利息)	45,399	3.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	92,295			
純損益	92,295			
累積欠損金	1,436,988			
経常収支比率	104.8		97.7	96.5
医業収支比率	78.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,761,887
1 固定資産	2,465,044
(1) 有形固定資産	2,464,559
(2) 無形固定資産	485
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	296,843
(1) 現金及び預金	47,928
(2) 未収金及び未収収益	233,090
(3) 貸倒引当金()	34
(4) 貯蔵品	15,360
3 繰延資産	-
負債合計	3,389,311
1 固定負債	2,492,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,306,696
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	185,691
(7) リース債務	-
2 流動負債	383,404
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,492
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,650
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	513,520
(1) 長期前受金	1,200,155
(2) 長期前受金収益化累計額()	686,635
資本合計	-627,424
1 資本金	802,878
2 剰余金	-1,430,302
(1) 資本剰余金	6,660
(2) 利益剰余金	-1,436,962
負債・資本合計	2,761,887
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	627,424
資本不足額(繰延収益控除後)()	113,904
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	296,592	523,597
資本勘定繰入	169,540	169,540
計	466,132	693,137

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	島根県
	市町村・組合名	飯南町
	病院名	飯南町立飯南病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,595 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	48	70.5	69.7	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	70.5	69.7	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	16.5	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,031	
決算規模(千円)	8,389,336	
標準財政規模(千円)	4,115,056	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	54.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,020,895			
1 経常収益	1,020,895			
(1) 医業収益	775,837			
入院収益	368,458			
外来収益	304,036			
診療収入計	672,494			
その他医業収益	103,343			
(うち他会計負担金)	51,563			
(2) 医業外収益	245,058			
(うち国・都道府県補助金)	819			
(うち他会計補助・負担金)	218,437			
(うち長期前受金戻入)	16,247			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,035,298			
2 経常費用	1,035,298			
(1) 医業費用	995,098			
職員給与費	566,050	73.0	55.7	80.8
材料費	96,159	12.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	39,720	5.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,439	7.3	11.0	4.9
減価償却費	110,653	14.3	9.0	12.9
経費	219,930	28.3	23.3	47.4
(うち委託料)	108,327	14.0	11.5	20.7
研究研修費	2,293			
資産減耗費	13			
(2) 医業外費用	40,200			
(うち支払利息)	12,578	1.6	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-14,403			
純損益	-14,403			
累積欠損金	841,012			
経常収支比率	98.6		97.7	96.7
医業収支比率	78.0		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	26.4		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	72.5		85.7	64.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,265,116
1 固定資産	1,769,638
(1) 有形固定資産	1,769,484
(2) 無形固定資産	154
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	495,478
(1) 現金及び預金	379,482
(2) 未収金及び未収収益	108,629
(3) 貸倒引当金()	358
(4) 貯蔵品	7,725
3 繰延資産	-
負債合計	1,290,569
1 固定負債	906,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	891,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	15,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	201,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,094
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	30,074
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,387
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	182,163
(1) 長期前受金	383,546
(2) 長期前受金収益化累計額()	201,383
資本合計	974,547
1 資本金	1,798,220
2 剰余金	-823,673
(1) 資本剰余金	17,339
(2) 利益剰余金	-841,012
負債・資本合計	2,265,116
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収益(千円)	724,274

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269,819	270,000
資本勘定繰入	61,010	65,222
計	330,829	335,222

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	津和野町
				病院名	津和野共存病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,447 m ²	指定病院の状況			
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	78.3	65.9	69.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	78.3	65.9	35.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	16.8	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	7,653	
決算規模(千円)	8,559,524	
標準財政規模(千円)	4,685,769	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	108.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	635,515

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	777,851			
1 経常収益	777,851			
(1) 医業収益	635,515			
入院収益	450,542			
外来収益	145,550			
診療収入計	596,092			
その他医業収益	39,423			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	142,336			
(うち国・都道府県補助金)	2,161			
(うち他会計補助・負担金)	121,906			
(うち長期前受金戻入)	1,816			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	761,581			
2 経常費用	760,796			
(1) 医業費用	752,034			
職員給与費	24,083	3.8	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	30,401	4.8	9.0	12.9
経費	697,550	109.8	23.3	47.4
(うち委託料)	696,522	109.6	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,762			
(うち支払利息)	6,695	1.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	785			
損益				
経常損益	17,055			
純損益	16,270			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.2		97.7	96.7
医業収支比率	84.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	15.7		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	86.2		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	748,576
1 固定資産	462,576
(1) 有形固定資産	462,576
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	286,000
(1) 現金及び預金	202,259
(2) 未収金及び未収収益	83,741
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	396,615
1 固定負債	354,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	354,332
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	37,893
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,077
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,816
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,390
(1) 長期前受金	74,771
(2) 長期前受金収益化累計額()	70,381
資本合計	351,961
1 資本金	-
2 剰余金	351,961
(1) 資本剰余金	294,783
(2) 利益剰余金	57,178
負債・資本合計	748,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	121,906	121,906
資本勘定繰入	35,465	35,465
計	157,371	157,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	邑智郡公立病院組合
				病院名	公立邑智病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,543 m ²	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	98	85.0	89.1	89.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	85.0	89.1	89.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	20.8	21.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.8
修正医業収益(千円)	1,497,763

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,875,887			
1 経常収益	1,875,887			
(1) 医業収益	1,589,175			
入院収益	978,003			
外来収益	437,827			
診療収入計	1,415,830			
その他医業収益	173,345			
(うち他会計負担金)	91,412			
(2) 医業外収益	286,712			
(うち国・都道府県補助金)	31,482			
(うち他会計補助・負担金)	175,432			
(うち長期前受金戻入)	64,641			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,859,269			
2 経常費用	1,828,585			
(1) 医業費用	1,765,265			
職員給与費	1,132,759	71.3	55.7	72.6
材料費	213,068	13.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	109,950	6.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,938	4.8	11.0	5.6
減価償却費	128,276	8.1	9.0	11.1
経費	274,333	17.3	23.3	31.9
(うち委託料)	103,461	6.5	11.5	13.0
研究研修費	12,270			
資産減耗費	4,559			
(2) 医業外費用	63,320			
(うち支払利息)	14,245	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	30,684			
損益				
経常損益	47,302			
純損益	16,618			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		97.7	97.4
医業収支比率	90.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	88.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,546,446
1 固定資産	1,321,446
(1) 有形固定資産	1,283,269
(2) 無形固定資産	13,376
(3) 投資その他の資産	24,801
2 流動資産	2,225,000
(1) 現金及び預金	1,916,813
(2) 未収金及び未収収益	285,751
(3) 貸倒引当金()	632
(4) 貯蔵品	23,068
3 繰延資産	-
負債合計	1,261,974
1 固定負債	577,104
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	541,039
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,065
(7) リース債務	-
2 流動負債	251,244
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	91,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	76,930
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,094
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	433,626
(1) 長期前受金	1,206,559
(2) 長期前受金収益化累計額()	772,933
資本合計	2,284,472
1 資本金	1,435,280
2 剰余金	849,192
(1) 資本金剰余金	39,757
(2) 利益剰余金	809,435
負債・資本合計	3,546,446
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	266,844	266,844
資本勘定繰入	44,738	44,738
計	311,582	311,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	隠岐広域連合(事業会計分)
				病院名	隠岐病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,479 m ²	指定病院の状況	救感へ災輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	91	76.9	84.2	82.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	22	79.4	80.5	74.9
感染症	2	-	-	-
計	115	76.0	82.0	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.9	11.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収益(千円)	2,317,547

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,293,631			
1 経常収益	3,293,631			
(1) 医業収益	2,453,377			
入院収益	1,168,447			
外来収益	1,094,504			
診療収入計	2,262,951			
その他医業収益	190,426			
(うち他会計負担金)	135,830			
(2) 医業外収益	840,254			
(うち国・都道府県補助金)	45,073			
(うち他会計補助・負担金)	717,199			
(うち長期前受金戻入)	66,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,431,052			
2 経常費用	3,234,502			
(1) 医業費用	3,071,342			
職員給与費	1,705,852	69.5	55.7	61.3
材料費	520,191	21.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	307,264	12.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,501	7.5	11.0	8.2
減価償却費	155,391	6.3	9.0	10.2
経費	671,228	27.4	23.3	30.5
(うち委託料)	336,891	13.7	11.5	13.0
研究研修費	9,004			
資産減耗費	9,676			
(2) 医業外費用	163,160			
(うち支払利息)	16,497	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	196,550			
損益				
経常損益	59,129			
純損益	-137,421			
累積欠損金	4,102,578			
経常収支比率	101.8		97.7	96.5
医業収支比率	79.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	25.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	75.5		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,217,616
1 固定資産	3,865,065
(1) 有形固定資産	3,562,491
(2) 無形固定資産	1,063
(3) 投資その他の資産	301,511
2 流動資産	1,352,551
(1) 現金及び預金	594,181
(2) 未収金及び未収収益	667,305
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	90,514
3 繰延資産	-
負債合計	2,419,734
1 固定負債	1,742,642
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,476,342
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	266,300
(7) リース債務	-
2 流動負債	377,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,660
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	209,189
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	300,090
(1) 長期前受金	300,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	2,797,882
1 資本金	5,825,318
2 剰余金	-3,027,436
(1) 資本剰余金	1,362,244
(2) 利益剰余金	-4,389,680
負債・資本合計	5,217,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	794,204	853,029
資本勘定繰入	95,905	118,939
計	890,109	971,968

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	島根県
				市町村・組合名	隠岐広域連合(事業会計分)
				病院名	隠岐島前病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,468 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	20	95.9	96.3	94.3
療養	24	81.7	78.6	78.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	88.1	86.6	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	15.2	11.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.6
修正医業収益(千円)	598,668

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	921,669			
1 経常収益	921,669			
(1) 医業収益	630,206			
入院収益	338,711			
外来収益	232,440			
診療収入計	571,151			
その他医業収益	59,055			
(うち他会計負担金)	31,538			
(2) 医業外収益	291,463			
(うち国・都道府県補助金)	2,367			
(うち他会計補助・負担金)	257,757			
(うち長期前受金戻入)	27,429			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	894,553			
2 経常費用	833,621			
(1) 医業費用	801,990			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	109,834	17.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	64,129	10.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,820	5.2	11.0	4.9
減価償却費	69,617	11.0	9.0	12.9
経費	619,626	98.3	23.3	47.4
(うち委託料)	45,400	7.2	11.5	20.7
研究研修費	2,545			
資産減耗費	368			
(2) 医業外費用	31,631			
(うち支払利息)	6,732	1.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	60,932			
損益				
経常損益	88,048			
純損益	27,116			
累積欠損金	289,202			
経常収支比率	110.6		97.7	96.7
医業収支比率	78.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	75.9		85.7	64.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,217,616
1 固定資産	3,865,065
(1) 有形固定資産	3,562,491
(2) 無形固定資産	1,063
(3) 投資その他の資産	301,511
2 流動資産	1,352,551
(1) 現金及び預金	594,181
(2) 未収金及び未収収益	667,305
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	90,514
3 繰延資産	-
負債合計	2,419,734
1 固定負債	1,742,642
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,476,342
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	266,300
(7) リース債務	-
2 流動負債	377,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	146,660
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	209,189
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	300,090
(1) 長期前受金	300,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	2,797,882
1 資本金	5,825,318
2 剰余金	-3,027,436
(1) 資本剰余金	1,362,244
(2) 利益剰余金	-4,389,680
負債・資本合計	5,217,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	286,174	289,295
資本勘定繰入	38,335	38,816
計	324,509	328,111

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	142.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。